

# BIG BEN

- p1 会員主催のイベント紹介  
Culture & Culture主催のチーズ教室
- p2 領事便り：グリーンパークの息吹き
- p3 エッセー：日英のはざままで 第8回
- p3 短信：叙勲・表彰①
- p4 日本クラブのイベント&同好会の活動報告他
- p4 短信：叙勲・表彰②
- p5 同好会案内／各種お知らせ

英国生活がさらに楽しくなる

## Culture & Culture主催のチーズ教室

日本クラブが案内するイベントには、日本クラブが主催するもののほかに、会員の主催によるものが多数ある。今回は、そんな会員主催イベントの中から、過去約10年にわたって続けているチーズ教室の主催者、Culture & Culture代表のマティス可奈子氏に話を聞いた。



テイスティング・イベントでは活発な質疑応答も

日本クラブ会員のチーズの専門家、マティス可奈子氏が代表を務めるCulture & Cultureが、初めて日本クラブ

会議室でチーズ教室を開催したのは、2014年のこと。以来、チーズの基礎知識を学ぶ講座をはじめ、チーズ専門店でのテイスティングイベントなど、チーズを学ぶための幅広い機会を提供している。

3月12日から計4回各2時間で行われた「チーズ資格取得講座」もそのひとつ。この講座は、英国におけるチーズの教育機関であるアカデミー・オブ・チーズのレベル1のカリキュラムを日本語で学べる唯一のコースで、最初の3回はZoomによるオンライン授業、最後の1回のみウェストミンスター図書館の会議室にて対面で行われる。オンラインとはいえ、受講者には、所定の英語教本と、日本人の生徒に特化したオリジナルのバイリンガル教本、さらにはサンプル・チーズセットまで宅配され、

実際にテイスティングを行いながら受講できる仕組みだ。

チーズとは何か、そのスタイルの大別とそれぞれがどのように作られるのか、さらには歴史的背景や生産地の自然環境などを体系的に学ぶ。資格試験対策もさることながら、英国とヨーロッパのチーズに関する理解を深め、生活の楽しみへと昇華できる講座内容だ。

「チーズを通して、土地の自然環境や風土、食文化の歴史や変遷を学ぶことで、食と生活に関する理解が深まり、英国生活がさらに楽しくなる、そんな講座を目指しています」とマティス氏。日本ではあまり認知されていない、英国のチーズについて広く知ってもらいたいという思いから、2021年には『とっておきのイギリスチーズ』を上梓した。「ここにいるからこそ触れられる、バラエティ豊かな英国と世界のチーズを、講座を通して最大限に楽しむお手伝いができたらいいですね」と話す。

食に興味のある人にとっては、知識の幅を広げ、生活につながられる講座となるだろう。

Culture & Cultureのウェブサイト：  
[cultureandculture.com](http://cultureandculture.com)



Culture & Culture 代表のマティス可奈子氏

**貸し会議室支援スキームを利用して  
会員向けイベントを開催しませんか**

イベント開催時の会場代の一部を日本クラブが負担します。  
詳細は事務局（5ページ）までお問い合わせください。

令和5年10月1日現在の在留邦人数が公表されました。また、ラマダン期間中の注意を呼びかける渡航情報、海外渡航の際に旅券の残存有効期間に注意する必要があることについてお知らせいたします。

### 1 在留邦人数統計

令和5（2023）年10月1日現在の英国在留邦人数は、在英國日本国大使館及び在エディンバラ日本国総領事館にそれぞれ提出されている「在留届」を基に、64,970人（前年比0.1%減）となりました。内訳は次の通りです。

総数	：64,970人（前年比0.1%減）
長期滞在者	：36,018人（前年比4.8%減）
永住者	：28,952人（前年比6.5%増）
グレーターロンドン	：32,487人（前年比1.4%減）

外務省では正確な在留邦人数の把握に努めておりますが、特に日本へ帰国、第三国に異動された場合、帰国届、転出届が在留届を提出した在外公館に提出されていませんと、在外公館では在留実態が反映されないままになってしまうことになります。

つきましては、在留実態を反映した在留邦人数を把握するためにも、帰国届、転出届の提出を忘れずに行うよう、皆様のご理解ご協力を改めてよろしくお願いいたします。

### 2 ラマダン期間中の注意喚起

外務省は、3月11日頃から4月9日頃まで続くラマダン、そして、ラマダン終了後に約3日間（今年は4月10日頃から4月12日頃）行われるイード・アル・フィットルと呼ばれるラマダン明けの祭りの期間中に注意を呼びかける広域情報「ラマダン期間中の海外渡航・滞在に関する注意喚起」\*を发出しています。

ラマダン期間中やその前後は、例年、テロの脅威が高まる傾向がありますが、今年は特に昨年10月以降のイスラエル・パレスチナ情勢を受け、緊張が高まっていることに留意する必要があります。

つきましては、外務省海外安全ホームページや「たびレジ」、報道等により最新情報の入手に努めながら、安全確保に十分注意を払うようお願いいたします。

### 3 旅券の残存有効期間に注意

最近、英国外に渡航しようとしたものの、旅券の残存有効期間が足りずに予定していた便への搭乗が認められず、どうしたら良いかとの相談が大使館に相次いで寄せられています。

渡航先国によっては、旅券の残存有効期間が一定以上必要となり、有効期間が不足していると入国拒否や、そもそも航空機への搭乗が認められない事態になります。特にシェンゲン領域諸国では、旅券の有効期限がシェンゲン領域国からの出国予定日から3か月以上残っており、かつ、10年以内に発行されたものである必要があります。

つきましては、残存有効期間が不足している場合は、大使館から新しい旅券の発給を受ける必要がありますので、渡航前には渡航先国が求める残存有効期間を必ず確認しておくようお願いいたします。



#### 園部 健治（そのべ けんじ）

2022年3月着任。20年ぶり2度目の英国勤務。福島県出身。サンドイッチ、印カレーが好物でクリケット観戦が至福の時間。サンデーペーパーが日曜の娯楽。

\*ラマダン期間中の海外渡航・滞在に関する注意喚起：

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo\\_2024C008.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2024C008.html)

## If I were a bird...



地域の学校を訪問して日本文化を伝えるスクールビジットのボランティアをしていた頃、世界地図を取り出し、「この地図で日本はどこ」という質問を投げかけていました。すると勇気ある生徒が前に出て、地図のずっと右端を探すのですが、日本が見つかりません。助太刀が登場して、無事に地図の真ん中にある日本を発見。「では、イギリスはどこ」と聞くと、もっと混乱して、インド、イベリア半島を辿り、ようやくイギリスにたどり着くということが多々ありました。「この地図は日本製なので、日本が中心になっていて、皆さんがいつも見慣れている、イギリスが中心のものと違っているのです。皆さんは、日本は極東にあると思っているでしょうが、私達にとってイギリスは、極西にあるのですよ」と解説していました。

私は地図が好きで、趣味のジグソーパズルの柄も、コーヒークップのデザインも、ショルダーバッグにも古地図をあしらったものを選んでいくほど。壁に掛けた様々な地図からは、人々の世界観の変遷がわかり、時代により日本がどのように世界に認識されていたか、いなかったかが読み取れて、大変興味深いです。

また、機上での楽しみは、ルート確認と空からの眺望です。初めての国に行くときには、まず空からその国にご挨拶。黒々とした森と湖が広がっていたり、太陽の光を受け白く輝く角砂糖を積んだような家々が見えたり、

第一印象で好奇心がさらに高まります。イギリスに最初に来た時には、映画「メアリー・ポピンズ」の冒頭のように、雲の切れ間からテムズ河の蛇行、ロンドンのレンガ造りの家並みが見え、本当に感激しました。船でイギリスに向かう場合には、緑のアイシングがかかったクリームケーキのようなホワイトクリフがそびえて、「Albion (白)」と呼ばれたのもしかりと納得します。

このような眺望をそのまま地図にした鳥瞰図には特に心を惹かれます。刺繍された洛中洛外図屏風の一部、鍬形蕙斎の江戸一目図屏風のレプリカ、大正の広重こと吉田初三郎の英語の旅行案内図など、その一枚に時間や人々の営みまで凝縮されていて、見飽きません。

今や山城の天守閣ではなく、高層ビルやタワーの展望室、鳥ではなくドローンが活躍し、宇宙から地球の出を捉える時代ですが、自ら物事を俯瞰する鳥の目と、微細なことも観察する虫の目を持ち、あらゆる方向から視点を変えて物事を見たいと願っています。

### 笹川 真理子 (ささがわ まりこ)

教育コンサルタント、教師、通訳、児童文学翻訳、文筆業。新潟生まれ。在英35年。「びっくべん」で様々なエッセーシリーズを執筆。



### マイケル・フリーハン氏に 外国人叙勲

マイケル・フリーハン氏が、令和5年秋の外国人叙勲で旭日小綬章を受章。フリーハン氏は、2016年に初代ジャパン・ハウス ロンドン館長に就任

し、同館の開館に向けて尽力。2018年の開館以降は2022年10月に退任するまで、日本文化の魅力を発信し続け、同館の地位を確立した。1月26日、駐英国日本国大使公邸において、叙勲伝達式が行われた。(写真① 在英国日本国大使館提供)



### ダポ・アカンデ教授に 在外公館長表彰

ダポ・アカンデ オックスフォード大学教授が、在外公館長表彰を受賞。

アカンデ教授は長年、国際法の漸進的発展に重要な役割を果たしてきた。昨年、日本が主催した法の支配に関する安保理閣僚級公開討論における活動を通じ、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の強化に向けた日本の取り組みに貢献した。2月6日、林肇駐英国日本国大使から授与された。(写真② 在英国日本国大使館提供)

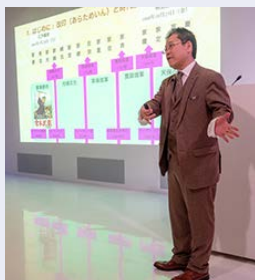
# 日本クラブのイベント & 同好会の活動報告他

## 坂次健司さんの講演会が開催

「シティ散策ツアー」のナビゲーターでお馴染みの、シティ・オブ・ロンドン公認ガイド、坂次健司さんの講演会が、2月16日（金）にジャパン・ハウスにて開催されました。日本クラブ開催のイベントとしては、定員100名の大規模会場。会員だけでなくゲストの同伴も可ということで、賑やかにイベントはスタートしました。

今回のテーマは「広重も驚く『江戸とシティの比較論』」。江戸とロンドンの共通点を広重の「江戸名所百景」を引用しながら、ひもといていきます。まずは、日本の江戸時代と、英国での主な出来事を年表を重ね合わせて検証。さらにロンドン橋と日本橋の多くの共通点や、一定の職人たちが集まる地域に付けられた地名の共通点など、目から鱗のお話が次から次へとテンポよく繰り広げられ、1時間半の公演はあっという間に幕を閉じました。

この続編となる講演会「英国から見た明治時代、再発見！」は、同会場にて4月5日に開催予定。次回も会員以外のゲストの同伴も可能です。ふるってお申し込みください。



日英の年表を並べて解説する坂次さん

## 日本クラブ主催のイベントカレンダー

- ◇ 4月 5日(金) シティ散策座学セミナー② ゲストOK  
4月4日締切  
英国からみた明治時代
  - ◇ 4月13日(日) ビール醸造所見学  
日帰りバスツアー
  - ◇ 4月下旬(予定) 医療関連セミナー
  - ◇ 5月 (予定) 英国生活お役立ちセミナー (住まいとクルマ)
  - ◇ 5月11日(日) シティ散策ツアー 中央編
  - ◇ 5月13日(日) 「食材・魚」テーマのセミナー
  - ◇ 6月 2日(日) 日本クラブ年次ゴルフ大会
  - ◇ 6月 8日(日) 蒸気機関車乗車体験ツアー
  - ◇ 6月15日(日) ロザハイズ散策ツアー
  - ◇ 7月 6日(日) シティ散策ツアー 南編
  - ◇ 7月13日(日) シティ散策ツアー 東編
  - ◇ 8月 (予定) ハマースミス日本庭園コミュニティイベント (ボランティア協力)
  - ◇ 8月10日(日) リージェントカナル散策ツアー
  - ◇ 9月 7日(日) ワイナリー見学バスツアー
  - ◇ 9月22日(日) シティ散策ツアー 西編
  - ◇ 10月13日(日) ハマースミス日本庭園清掃ボランティア
  - ◇ 10月19日(日) シティ散策ツアー 北編
  - ◇ 10月20日(日) 100周年記念クリサンシマムカップ
  - ◇ 10月26日(日) グリニッジ散策ツアー
  - ◇ 11月 9日(日) 大英博物館ツアー
  - ◇ 11月 (予定) 「日英の教育・文化の違い」セミナー
  - ◇ 11月16日(日) 大英博物館ツアー
  - ◇ 12月 (予定) 帰任者向けセミナー (住まい・クルマ・引っ越し)
- ※日程は予告なく変更となることがあります。ご了承ください。

## 同好会、交流会を始めませんか

日本クラブは、日英交流や会員相互の親睦活動を支援しています。各種趣味の集まりやサークルなど、会員対象の同好会、交流会の開催にご興味のある方は、事務局（5ページ）までお問い合わせください。

## 同好会通信

### ■ 日本クラブ女声合唱団グリーンコーラス

2月7日に、メイダ・ヴェールのシナゴークにて、26回目の慰問コンサートを行い、観客の方々と交流しながら楽しいひと時を過ごしました。

現在は、6月のセント・ジョンズ・ウッド教会での定期演奏会に向けて練習に励んでいます。パリ五輪にちなんで、フランスの曲も披露する予定です。どうぞお問い合わせのうえ、お越してください。

**場所** St John's Wood Church, Lord's Roundabout, London NW8 7NE **日時** 6月29日(土) 16:00～



2月7日の慰問コンサートにて

※随時団員募集中です。詳細、お問い合わせ先は5ページをご覧ください。  
※SNSで最新の活動状況を発信しています。こちらも併せてご覧ください。

Facebook: @GreenChorusLondon  
Instagram: @greenchoruslondon



## ニール・コッソズ卿に外国人叙勲

ニール・コッソズ卿が、令和5年秋の外国人叙勲において旭日中綬章を受章。コッソズ卿は、科学博物館館長を務めていた2000年まで、さまざまなイベントを通して日英両国の相互理解の促進に寄与。その後も2015年の「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録への貢献ほか、日本の産業遺産の保全とその理解の向上に尽力してきた。2月12日、駐英国日本国大使公邸にて叙勲伝達式が行われた。(写真③ 在英国日本国大使館提供)

## 日本クラブ理事の交代

- ◆ 日本人学校運営委員長：鈴木史朗氏より岡田茂樹氏へ（ともにみずほ銀行）

## 日本クラブ 新規加入の法人会員

- ◆ Tokyo Gas UK Ltd
- ◆ The Sparkling Sake Brewery

## 日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎07485 083663  
[yo.uchishiba@btinternet.com](mailto:yo.uchishiba@btinternet.com) (内柴洋一郎)  
随時入会受付中（申し込みはHPから）

## 日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆ 会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：  
[londongreenchorus@gmail.com](mailto:londongreenchorus@gmail.com)

## 日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例 会：オンライン
- ◆ 問い合わせ：  
[iku.sasaki@gmail.com](mailto:iku.sasaki@gmail.com) (佐々木いく子)

## 日本クラブ囲碁会

- ◆ 例 会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆ 会 場：Inn of Court Pub  
地下鉄 Chancery Lane  
Exit 3より直進2分
- ◆ 問い合わせ：☎07956 594040  
[tanaka@gokichi.org.uk](mailto:tanaka@gokichi.org.uk) (田中)

### <ご意見ご感想募集>

「びっくべん」に関する、  
ご意見ご感想をお寄せください。  
宛先：[jimukyoku@nipponclub.co.uk](mailto:jimukyoku@nipponclub.co.uk)

### ご存知 ですか

## 簡単！おトク！日本クラブ会員証の提示で割引に

協賛企業の協力により、会員証の提示で特典サービスが受けられます。

- ◆ ショップ ◆ レストラン ◆ ヘアサロン
- ◆ 旅行 ◆ ゴルフ ◆ 歯科
- ◆ 弁護士 ◆ セラピー/コンサルティング



協賛店とそれぞれの特典の詳細は、以下をご覧ください：

[www.nipponclub.co.uk/privilege/index.html](http://www.nipponclub.co.uk/privilege/index.html)



## 日本クラブ事務局は移転しました

日本クラブ事務局は、以下の所在地移転しました。  
新事務局はMoorgate駅から徒歩2～3分です。

### ● Nippon Club

Salisbury House, 29 Finsbury Circus, London EC2M 5QQ

TEL : 020 7921 9490

Email : [jimukyoku@nipponclub.co.uk](mailto:jimukyoku@nipponclub.co.uk)

月曜～金曜：午前10時～午後6時

土曜・日曜・祭日は原則休館

※新事務所には、会員向けラウンジは  
ございません。

※ご来訪の際には、事前にご連絡ください。



## ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、  
学習指導要領に準じた教育を  
実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可

## ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している  
子ども達が、日本の国語の勉強をする  
「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、ブレント、クロイドンの3校舎
- 小学部・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科



入学・転入学随時受付 TEL : 020 8993 7145

## 2024年広報委員会委員（4月1日現在）

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 委員長：藤原 学思（朝日新聞）        | 委員：甲斐 元和（伊藤忠）             |
| 副委員長：五島 勝也（全日空）        | 委員：笹川 真理子<br>（英国文化センター）   |
| 委員：山尾 まゆ<br>（広報文化センター） | 委員：安田 和代<br>（KRes Europe） |
| 委員：園部 健治（領事）           | 委員：有地 芽渢<br>（英国日本婦人会）     |
| 委員：山口 敬敏（丸紅）           |                           |

広報委員会の主たる任務は年4回発行される会報「びっくべん」の編集・発行と、クラブのホームページの運営、その他一般的なクラブの広報・宣伝活動です。委員長は日本のメディア各社の代表が毎年交代で務め、その他の委員は毎年交代する人と継続して務める人がいます。

## 2024年3月帰任の先生

### ◆ロンドン日本人学校

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 校長 佐藤 雅彦（大分）  | 教諭 渡部 幸子（広島） |
| 教諭 五味 公人（愛知）  | 教諭 齋藤 雄一（兵庫） |
| 教諭 森永 富二子（兵庫） | 教諭 森田 幸樹（兵庫） |
| 教諭 和地 恵美（東京）  | 教諭 高見 周吾（兵庫） |
| 教諭 春木 明子（沖縄）  | 教諭 関根 香里（埼玉） |
| 教諭 山田 宏（東京）   |              |
| 教諭 井上 円（福岡）   |              |

### ◆ロンドン補習授業校

- |              |
|--------------|
| 校長 中村 清忠（東京） |
|--------------|